

やなかわ

YANAGAWA 2013.

No.200

7月15日

今号の内容

- | | |
|---|-----|
| ◆8月3、4日はスイ!水!すい! | ページ |
| ◆日ごろの健康管理と早めの受診を | 2~3 |
| ◆資源物専用指定袋は、便利でお得 | 4 |
| ◆24億2634万円の政策予算が成立 | 5 |
| ◆都市計画案を縦覧し意見書を受付 | 6 |
| ◆参議院議員選挙の投票日は7月21日 | 7 |
| ◆白秋の遺徳をしのぶ詩と短歌を募集 ほか | 8 |
| | 9 |
| ◆市民のひろば(10-11) ◆俳句(11) ◆情報わいど(12-18) ◆ぬくもり(18) ◆もちふみデビュー(19) ◆人権・同和教育シリーズ(20) | |

明かりを消してスローな夜を

「燈明の夜 2013 イン柳川」が6月22日、新町の真勝寺で開かれました。夏至と冬至の夜に照明を消し、環境問題などを考えるイベントで、今回で3回目。約700本のろうそくを、竹筒や子どもたちが夢を書いた紙袋などに入れて火を灯しました。会場を訪れた人たちは、思い思いにろうそくを眺め、ゆっくりとした時間を楽しんでいました。



人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

外国の人と仲良く



東宮永小学校5年 松永 笑太 くん

し、苦手だなあと思っていました。話しかけられても、あまりしゃべれませんでした。

でも、先生といっしょに歌ったり、ゲームをしたりしているうちに仲良くなりました。

次の先生も、その次の先生も、みんなやさしい先生でした。ろこ下ですれちがうと笑顔で「ハロー、こんにちは。」と声をかけてくれました。

ぼくも自分から「ハロー」と笑顔で言えるようになりました。先生の好きな食べ物「すしとハンバーグ」と聞いたときは、「ぼくといっしょやん。」と思いました。

先生は、自分の家族の話もしてくれました。妹やお姉ちゃんもいてとても仲がいいそうです。ぼくの家も家族みんな仲良しな

ので、いっしょだなあと思いました。

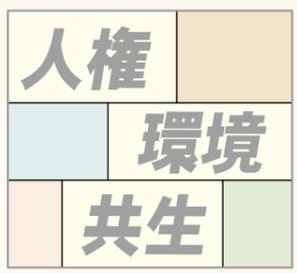
「家の中でくつをはいているよ。」と聞いたときはびっくりしました。ぼく達は家の中でくつをはくことはないの、「へえ、ちがうところもあるんだなあ。」と思いました。

ぼくは、外国の人と勉強したり話をしたりしているうちに、金ばつでも青い目でも、はだの色がちがっても気にならなくなりました。いやだなとも思わなくなりました。

時々、ニュースで、外国と島のごとで争ったり、仲が悪くなっていることを聞くと、悲しくなります。もつと話し合いをして仲良くなればいいのにと思いますが。

同じ人間なんだからきつと仲良くなれると思います。

ぼくは、これから、見た目や言葉や習慣がちがっていても、どこの国の人とも、今よりもっと仲良くしていきたいと思っています。



【評】どこの国の人であろうと、同じ地球に住んでいる人間です。笑顔で接し、心と心が通じ合えば、お互いに分かり合えると思います。

外国の人と接する中で、笑太さんは大切なことに気づくことができましたね。